

# Tiritiri Matangi ティリティリ・マタンギ

An open sanctuary 公開保護区

Department of Conservation / Te Papa Atawhai 環境保全省

## An open sanctuary 公開保護区

ニュージーランドの離島保護区では希少で絶滅を危惧された多様な動植物の存続に努めています。離島での保護活動は本土と比べて害獣を排除することが容易であるため、非常に重要な任務を担っています。

リトルバリアー島などの離島保護区の多くは一般に公開されておらず、野生動物への影響を最小限に食い止めるように注意が払われています。

その一方で、ティリティリ・マタンギのように一部の離島は一般公開され、どなたでも自由に訪れ、ニュージーランドの希少な動物を目にすることが出来ます。

島は環境保全省(DOC)によって管理され、島の野生生物・自然保護・科学調査・リクリエーション・歴史価値のために島を守っています。

ティリティリ・マタンギ(マオリ語で“風に向かって”/“風にあたる”の意。以下『ティリティリ』)はファンガパラオア半島から東へ4キロに位置しています。

面積220ヘクタールの島はかつてポフツカワ(12月頃赤い花をつけ『クリスマス・ツリー』と呼ばれる)を中心とした森に覆われ、木々に覆われた谷にはコヘコヘ(隔年で花実をつける樹)・タライレ(川沿いに植生し春に花、秋から冬に実をつける樹)が多く植生していました。しかし、マオリに続き、ヨーロッパからの移民によって、島の殆どの森が切り開かれ、牧草地と化しました。

ティリティリは海岸の森の自然再生化を加速させるため、また鳥類に豊かで変化にとんだ住処を提供する為に、原生樹が植樹されてきました。

## The Island's History 島の歴史

ティリティリはカウエラウ・ア・マキ部族によって入植されました。その際彼らがティリティリ・マタンギ岩を築いたことが、島の名前の由来になっています。主なカウエラウの入植は島の西側で、岩とワトル川の間全ての尾根には住居とクマラ(サツマイモ)の貯蔵庫の跡があります。ノース・イースト・ベイ(北西湾)に大きな入植がありました。後にナティ・パオア一族がここに移り住み、パバクラ(マオリ語で“赤岩”の意)岩を築きました。これは1700年代にあった、2つの部族間の衝突の間に、壊されました。

ヨーロッパ人がやってきた1850年代中頃から1970年代まで、島は継続的に牧草地化とされていました。現在は環境保全省(DOC)が学術的保護地域としてティリティリを管理しています。

ティリティリの高さ20.5メートルの灯台は1865年から湾を行き来する船舶を導き、灯台の守主らが長年にわたり働いてきました。最初の灯台は1920年代に、現在のものと取り替えられました。今日灯台は完全に自動化され、太陽電池板によって稼働しています。

## The Replanting Programme 植樹計画

1984年、ティリティリの植樹計画が始まり、数千のボランティアの援助と協力によって成功しています。計画は1994年、25万本以上のニュージーランド原生の木が植樹されたことで、無事完了しました。

植樹計画の核となったのは、島で集めた種子を増殖する為に、島の養樹場を確立することでした。最初、主にポフツカワを植樹しました。成長の早いポフツカワがゆっくり育つ木々の覆いとなり、陽にさらされる状況からまもる役目となります。

一度ポフツカワの覆いが出来てから、タライレ、コヘコヘ、ブリリヤその他多く木々がその日陰に植樹されました。種を食べる鳥の糞が種子を広範囲に散布する助けとなり、森の再生に貢献しています。

## Bringing Back the Birds 鳥の移住

ティリティリに元来いた鳥達は、森林の牧草地化のために、深刻な被害を受けました。多くの種類は新しい住処と食糧を探さなければならなくなり、トウイ(エリマキミツスイ)、ファンテール(ハイロオウギビタキ)、シルバーアイ(ハイムネメジロ)、グレイウォーブラ(センニョムシクイ)、ベルバード(ニュージーランドミツスイ)、スポットレスクレイク(ミナミクロクイナ)のような、より強い種類のみ生き残りました。

サドルバック(セアカホウダレムクドリ)、タカヘ、バラキート(アオハシインコ)、ノースランドロビン(コマヒタキ)、コココ(ハシトホオダレムクドリ)、ホワイトヘッド(シロモフアムシクイ)、リトルスポテッド(コマダラ)キーウィ、ブラウンテール(コガモ)、ファンバード(シダセッカ)、ステッチバード(シロツノミツスイ)のような希少種は、最初ニュージーランド・ワイルドライフ・サービス(ニュージーランド野生動物事業団)によって、最近では環境保全省(DOC)、教育機関やダックス・アンリミテッド(ニュージーランドの湿地に生息する鳥類保護を目的としたボランティア機関)によってティリティリに移住してきました。

## Volunteer & Community Support ボランティアと市民の援助

サポーターズ・オブ・ティリティリ・マタンギ(SOTM)は公開保護区としてのティリティリの発展に貢献している主なボランティア機関で、計画遂行にはその援助を欠かすことは出来ません。

そのほかにも数百人が計画のために労力と資金を提供しています。ティリティリの植樹の殆どが、各種保護団体、事業組織、学生団体、スポーツクラブといった、島を訪れる団体の手によって行われてきました。苗木の育成、小規模の建設計画、植樹、教育における、ボランティアの参加は計画に不可欠です。

## Visiting the Island 島の訪問

- 現地では  
ハイキングやバードウォッチングを終日お楽しみいただけます。ガイド・ウォークあり(有料)。島では食物は販売しておりませんので、必ず各自で昼食をご持参下さい。
- サポーターズ・オブ・ティリティリ・マタンギ(SOTM)に是非ご参加下さい。  
公開保護区ーティリティリを支え、計画推進を援助しています。  
住所 PO Box 34 229, Auckland 1310  
Website: [www.tiritirimatangi.org.nz](http://www.tiritirimatangi.org.nz)
- その他、島に関するお問合せ先  
電話 +64 9 476 0010  
Email: [tiritirimatangi@doc.govt.nz](mailto:tiritirimatangi@doc.govt.nz)  
住所 Tiritiri Matangi Island, Private Bag, Auckland

## アクセス — カワウ・キャット・クルーズ

(12月初めから1月中旬まで)毎日運行  
(1月中旬から4月末まで)毎週水～日曜日及び祝祭日  
(4月末から12月初めまで)毎週木、土、日曜日及び祝祭日  
この期間、需要によって水・金曜日も運行。お問い合わせ下さい。  
オークランドから朝9時 ガルフハーバーから朝9時45分出発  
天候により、フェリーの運航に変更が発生する場合があります。  
価格と運行時間は予定なく変更される場合があります。  
要予約 電話 +64 425 8008 ファックス+64 425 7650  
Email: [info@kawaikat.co.nz](mailto:info@kawaikat.co.nz) Website: [www.kawaikat.co.nz](http://www.kawaikat.co.nz)